

島根県立美術館 開館20周年記念展「北斎」開会式

H31. 2. 8(金)

一言、ご挨拶申し上げます。

島根県立美術館の開館20周年記念展の開催にあたり、このように多くの皆様のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

島根県立美術館は、宍道湖畔という素晴らしいロケーションのもと、美しい夕陽を楽しめる美術館として、平成11年3月に開館いたしました。

以来20年、県の文化振興の拠点として、水をテーマとする絵画などの作品の収集と公開、さまざまなジャンルの美術展の開催、講演会やワークショップなど、多彩な事業を実施してまいりました。

この美術館に、新たなコレクションとして、「永田生慈様の北斎コレクション」が加わりました。

永田生慈様はご承知のとおり、葛飾北斎の研究において、長年にわたり多くの業績を積み重ねてこられた方でございます。

その研究の傍ら、北斎の多くの貴重な作品を自ら収集してこられ、これを、2017年に、郷里であります島根県に一括してご寄贈くださったのであります。

残念ながら、永田様は昨年ご逝去されましたが、私どもは、このコレクションを大切に後世に伝えていかなければなりません。

今回の展覧会は、コレクションの初めてのお披露目の機会となり、県立美術館開館20周年という節目に、皆様にご覧いただけることを、大変嬉しく、ありがたいことと思います。

また、永田生慈様のご遺族をはじめ、本展の開催にご協力いただきました皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

終わりに、この展覧会の成功と県立美術館のさらなる発展を祈念し、ご挨拶と致します。